

特別展

じゃく しょう じ
若松寺の歴史と遺宝

わかまつ かのん
若松観音1300年のあゆみ

平成19年7月14日(土)

10月7日(日)



重要文化財
金銅聖観音像懸仏



県指定有形文化財
線刻聖観音鏡像

開館時間 午前9時～午後4時30分
(午後4時までに入館ください。)

休館日 月曜日、8/8(水)、8/21(火)、8/28(火)
ただし8/6(月)、8/13(月)、8/20(月)は開館します。

入館料 大人 300円 (20名以上の団体 150円)
学生 150円 (20名以上の団体 70円)
高校生以下および障がい者の方は無料

主催 山形県立博物館
共催 鈴上山若松寺、若松観音開山1300年祭記念事業実行委員会
後援 最上三十三観音札所別当会、天童市、天童市教育委員会、天童市観光物産協会、山形県文化財保護協会、山形県芸術文化会議、山形市芸術文化協会、村山民俗学会、朝日新聞山形総局、河北新報山形総局、産経新聞社山形支局、荘内日報社山形支局、日本経済新聞社山形支局、毎日新聞山形支局、山形新聞、米澤新聞社、読売新聞東京本社山形支局、共同通信社山形支局、時事通信社山形支局、NHK山形放送局、さくらんぼテレビ、テレビユー山形、山形テレビ、山形放送、ケーブルテレビ山形、エフエム山形、山形コミュニティ放送

山形県立博物館

〒990-0826 山形県山形市霞城町1-8(霞城公園内)
TEL.023-645-1111 FAX.023-645-1112
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~ykmuseum/>

特別展

若松寺の歴史と遺宝

若松観音1300年のあゆみ

鈴立山若松寺(天童市山元)は最上三十三観音一番札所として知られ、「若松観音」「若松さま」として庶民の信仰を集めてきました。寺伝によれば、和銅元年(708)行基によって開かれたとされ、平成20年に開山1300年を迎えます。この地域屈指の古刹であり、現在も十三ヶ寺からなる一山組織を形成しています。

本展は、開山1300年という節目の時期に、これまで一堂に公開する機会がなかった若松寺と一山寺院に残された資料を、可能な限り集約し体系的に展示し、その歩みを振り返るとともに、若松寺に寄せられた信仰・尊崇のあり方について探ろうとするものです。

主な展示品

- ◆重要文化財金銅聖観音像懸仏
- ◆重要文化財板絵著色神馬図
- ◆県指定有形文化財納札及び巡礼札
- ◆県指定有形文化財線刻聖観音鏡像
- ◆市指定有形文化財木造伝行基菩薩坐像
- ◆市指定有形文化財木造僧形文殊菩薩坐像
- ◆市指定有形文化財銅造阿弥陀如来立像
- ◆市指定有形文化財木造不動明王立像
- ◆市指定有形文化財木造狛犬
- ◆市指定有形文化財最上義光書簡 ほか約100点



天童市指定有形文化財
木造僧形文殊菩薩坐像



天童市指定有形文化財
木造伝行基菩薩坐像



重要文化財
板絵著色神馬図



重要文化財 若松寺観音堂

交通案内

- 徒歩：山形駅より15分。
 車：山形道山形蔵王I.C.より5km、約20分。
 霞城公園の北門からお入りください。
 駐車場10台、ほかに公園内の駐車場があります。

山形県立博物館

〒990-0826 山形県山形市霞城町1-8(霞城公園内)
 TEL.023-645-1111 FAX.023-645-1112
 URL <http://www6.ocn.ne.jp/~ykmuseum/>

関連行事

1. 特別展記念講演会・シンポジウム

テーマ/古代・中世の若松寺をさぐる

- ◆記念講演 講師/伊藤清郎(山形大学地域教育文化学部教授)
- ◆シンポジウム コーディネーター/川崎利夫 ほかパネラー4名
- 平成19年9月8日(土)午後1時30分から4時30分
- 会場:山形県立博物館 講堂

2. 特別展セミナー

[1]平成19年7月28日(土)

テーマ/若松寺の文化財 講師/川崎利夫、村山正市

[2]平成19年8月11日(土)

テーマ/近世・近代の若松寺 講師/近藤守利、渡邊 政

[3]平成19年8月25日(土)

テーマ/若松寺をめぐる信仰と習俗 講師/野口一雄、小田島建己

■各回共通 時間:午後1時30分から4時

会場:山形県立博物館 講堂

3. 現地見学会

■平成19年10月6日(土) 午後1時30分から3時

会場:若松寺(天童市山元 現地集合)

4. 展示解説会

■7月15日(日)、8月19日(日)、9月22日(土)

時間:午後1時30分から

